

10月25日に第4回臨時議会を開きました。ここでは、広野駅東側開発整備事業（第2期）による財産の取得、防災行政無線戸別受信機の購入、一般会計補正予算について審議し、全会一致で可決しました。

第4回臨時議会

【補正の結果】

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	546万円	122億8089万円

●主な内容●

<歳入>

財政調整基金繰入金	314万円
震災復興基金繰入金	▲860万円

<歳出>

土地改良施設維持管理事業（水門の維持管理等）	29万円
消防施設諸経費（屯所建設に係る地盤改良等）	773万円
防災行政無線整備事業（不用額の減額）	▲1350万円

●用地を取得するため

広野駅東側開発整備事業（第2期）における用地について、農地法における転用許可を得たため、当該用地を取得するための議案を全会一致で可決しました。なお、議員からは今回の用地取得で整備に要する土地は全て賄えるのかなどの質疑があり、町からは今回の土地で賄えるとのことでありました。今後、用地取得に向け地権者の方との用地交渉が行われます。

取得財産

土地 下北迫字折返1番1
所在 ほか52筆
地目 田、山林、宅地および原野
地積 55,307.30㎡

取得の目的
広野駅東側開発整備事業（第2期）による

取得価格
1億3391万5775円

契約の相手方
27名

●戸別受信機を購入

町の防災行政無線は、電波法が改正されたことにより、平成19年12月以降は、アナログ防災行政無線としての増設・改修ができなくなり、平成21年の全国瞬時警報システム（J-ALERT）との自動連携設備整備に併せ、新局装置など、デジタル放送に向けて準備を進めてきました。

質疑

防災行政無線戸別受信機の購入について

戸別受信機の貸出の対象は

小磯利雄議員 防災行政無線戸別受信機の取得台数2500台の貸出先はどちらになりますか。

鯨岡環境防災課長 戸別訪問により、来年度の住基世帯は約2110世帯になると想定しています。そちらの方々に貸出をして、残りは故障等での交換や住所登録がある方で、新たに住宅を構えた方、事業所に配布した方、と考えています。

町外からの居住者への貸出は

渡邊正俊議員 住民基本台帳に則って貸出していくとのことですが、現在多数の町外居住者があり、住民票の無い方がいます。そういった方は対象にならないのですか。ならないとすれば、貸出をするよう思いやりをもつて接するべきではないですか。

鯨岡環境防災課長 J-ALERTなど災害の情報手段は他にもあり、災害のお知らせができています。そのため、今のところ住民票が無い方には配布する考えはありません。作業員宿舎に住民票も無く来ている方と町外から避難して住んでいる方の線引きができれば貸出を検討したいと思っています。

所得物件
防災行政無線戸別受信機 2,500台

取得の方法
随意契約による買入

取得価格
1億800万円

契約の相手方
株式会社 日立国際電気 東北支社



駅東側開発整備事業（第2期）用地



駅東側開発区域等を視察した三郷市議会

埼玉県三郷市議会 町の復旧・復興状況を視察

11月21日に埼玉県三郷市議会が視察のために来町されました。震災当時から避難する町民の受け入れをはじめ、様々な支援をいただいています。町より、復興状況について説明し、現地視察では広野駅東側開発区域、防災緑地、県道広野・小高線等について視察されました。